

# 福岡大名ガーデンシティ



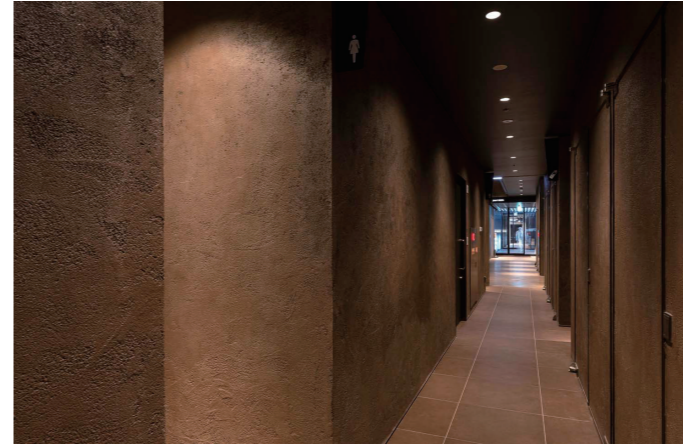
## 外観

福岡の新たなランドマークとして2023（令和5）年6月に開業した「福岡大名ガーデンシティ」。門をモチーフとしたシンボリックなデザインの建物を抜けると、人々が自由に交流するガーデンへと、新しいまちが広がる。



## ビオスクエア 内観

1・2Fは、ハイクラスなテナントから日常使いできるショップまで、個性豊かな18店舗が集まる商業フロア「ビオスクエア」。国内外の観光客や、地元の方もそれぞれのシーンで、思い思いに楽しむことができる。



## ビオスクエア トイレ前通路

同施設は、140年の歴史に幕を下ろした「福岡市立大名小学校」の跡地に立地。照明によって浮かび上がるビオスクエアの土壁風の左官壁の中には、その校庭の土が混ざられ、この土地の歴史と記憶を引き継いでいる。



## ビオスクエア 東側 男性トイレ 全体

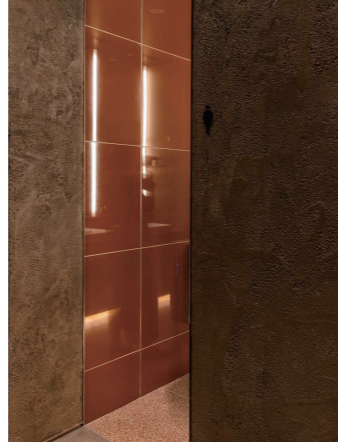
トイレ内の壁タイルや洗面カウンターの大理石にも赤茶色系の色味を用いて、気品と趣きを湛える通路からの雰囲気も踏襲している。



## ビオスクエア 東側 男性トイレ 小便器・大便器コーナー



小便器、大便器ともに壁掛式を採用し、床面の清掃性に配慮。また、さまざまな利用者に配慮して、手すりやベビーチェアも設置している。



## ビオスクエア 西側 女性トイレ 入口

トイレ内の壁面素材は、通路や入口の雰囲気を踏襲しつつも、空間全体が暗くなりすぎないように、少し明るめの色調を採用している。



## ビオスクエア 西側 女性トイレ 洗面コーナー

空間全体の色調に加え、バessel式の洗面器や大理石のカウンター、藤で編んだフロントパネル、足元の間接照明など、ワンランク上の高級感を感じる設えとなっている。



## ビオスクエア 西側 女性トイレ スタylingコーナー

スタylingコーナーは、上下2段のカウンターを備え、手荷物に配慮。また、全身の身繕いチェックができる姿見も設置している。



## ビオスクエア 西側 女性トイレ 大便器ブース



大便器の洗浄は、手をかざして非接触で操作できるセンサー式を採用。ベビーチェアを設置しているブースの扉には、連れのお子様が一気に鍵を開けてしまうのを防ぐため、手が届かない高さにも鍵を設置している。



## ビオスクエア 西側 バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮したバリアフリートイレ。洗面器には、電気温水器付を設置し、冬場でも快適にお湯で手洗いができるよう配慮している。



## ビオスクエア 西側 授乳室

乳幼児連れの方に配慮し授乳室を設置。扉の奥は、女性専用のスペース。その手前には、流しと調乳機、授乳用の椅子が用意されている。



## ビオスクエア 西側 授乳室

扉奥は、カーテンで仕切られた女性専用の授乳室。個室には大きな鏡が用意されており、授乳後に身繕いができるよう配慮している。

# 福岡大名ガーデンシティ



オフィスフロア  
内観

5~16Fは、ハイグレードなオフィスフロア。大きな窓から、福岡市内を四方一望できる。センターコアの共用部を取り囲む無柱空間で、複数階に入居するテナントは、内部階段や吹き抜けを設けることも可能となっている。



オフィスフロア  
男性トイレ 全体

トイレは、南北の二方向に抜けられる長細い空間。内装はシンプルなモノトーンで統一。洗面カウンターは、水栓を棚の下にセットし、棚を広く確保したツインデッキカウンター(スペースアップタイプ)を採用している。



オフィスフロア  
男性トイレ  
小便器・大便器コーナー

小便器コーナーは、小便器の間に天井まで立ち上げた間仕切りを設けてプライバシーに配慮。また、ブラケットの間接照明を大便器ブースに設置することで、上質な空間を演出している。



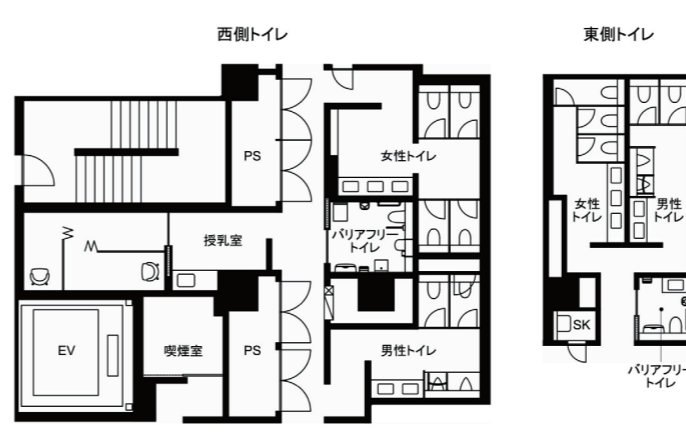
オフィスフロア  
女性トイレ 全体

使用されていない時の大便器ブースの扉は、内部が丸見えにならない角度に止まるよう設定。壁やブースの扉などを同じ壁面材で仕上げた内装とあいまって、全体がスッキリとしたスタイリッシュな印象となっている。



オフィスフロア  
女性トイレ  
洗面・  
スタイリングコーナー

洗面コーナー、スタイリングコーナーには、顔全体に光が均一に当たるよう設計された照明により、化粧しやすいLED照明付鏡を設置している。



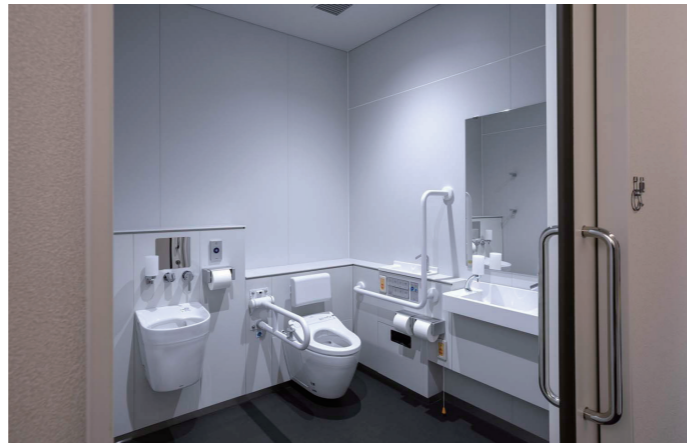
ビオスクエア  
トイレ図面

商業施設ビオスクエアのトイレは、通路を挟んだ西側と東側にそれぞれ男女トイレを配置。西側には、授乳室も用意されている。



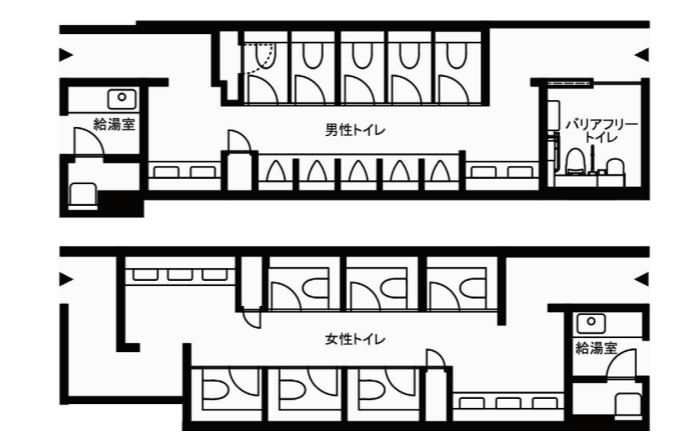
オフィスフロア  
女性トイレ  
大便器ブース

さまざまな利用者に配慮し、手すりやフィッティングボード付きのブースも用意。洗浄ボタンとウォシュレットのリモコンはボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを採用している。



オフィスフロア  
バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクトバリアフリートイレバックを設置している。



オフィスフロア  
トイレ図面

オフィスフロアのトイレは、エレベーターシャフトを挟んで東西に男女トイレを配置。また、南北の両方向に抜けられる出入口は、各入口付近に洗面コーナーを設けた二方向レイアウトとなっている。

## 水まわりの特長

### 建物の特徴

福岡の新たなランドマークとして2023(令和5)年6月に全面開業した「福岡大名ガーデンシティ」は、福岡市が主導する「天神ビッグバン」の中核となる再開発事業。九州初上陸となるラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン福岡」を誘致、さらに大規模ハイグレードオフィスを擁するなど、大きな話題となっている。敷地は140年続いた歴史ある「旧大名小学校」の跡地で、校庭を再生した緑豊かな広場を囲むように、オフィス・ホテル・商業施設からなる「タワー」と公民館や創業支援・人材育成施設などがある「テラス」、さらに「パーク」、イベントホールの「ステージ」を配置。アジアのリーダー都市へと進化を遂げている福岡で、人々や企業、世界や地域との多様な交流拠点として、新しい原動力となる。

### トイレの特長

小学校跡地というこの土地の歴史と記憶を引き継ぐため、2014(平成26)年に閉校した旧大名小学校の校庭の土を混ぜた左官材を、タワー棟1・2Fの商業施設の床と壁に使用。さらに、トイレその雰囲気を引き継ぎ、新しさの敷にも懐かしさを感じさせる上質な空間となっている。また、5~16Fのオフィスフロアは、総面積約30,000㎡、ワンフロアの専有面積が約2,500㎡となる九州最大級の規模。トイレは、南北の両方向に抜けられる細長い空間で、どちらからでもアクセスしやすい二方向レイアウトとなっている。内装はシンプルにしてスタイリッシュなデザインで統一。小便器の間の間仕切りや大便器ブース内に設けられたブラケットの間接照明など、ワーカーがまとひと息つける細やかな配慮が施されている。

## 建築概要

名称	福岡大名ガーデンシティ
所在地	福岡県福岡市中央区大名2-6-50
施主	大名プロジェクト特定目的会社 (積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、西部瓦斯株式会社、株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社)
設計	株式会社久米設計 株式会社醇建築まちづくり研究所
施工	建築 清水・鴻池・積和建設九州特定建設工事共同企業体
竣工年月	2023年3月
敷地面積	9,999.87㎡
建築面積	5,469.28㎡
延床面積	91,423.00㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階、地上25階

## おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC2CS2B1
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF552\*Y系
- スベア付き紙巻器:YH150系
- 棚付二連紙巻器:YH700AD
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- 壁掛ハイバック洗面器:LSG125系
- 洗面器:LS722CM
- 台付自動水栓:TLE26SS\*系
- 自動水石けん供給栓:TLK07S\*系
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- コンパクトオストメイトバック:UAS82L\*系
- ベビーチェア:YKA15S、YKA16S
- フィッティングボード:YKA41R
- パブリック用手すり:T114CL10R、T114CU22R
- インテリアバー:YHR600M
- 大便器ユニット:UTNCAA
- 小便器ユニット:UTNUBN
- 洗面器ユニット:UTNLAC
- バリアフリーユニット:UTNDAA